

2026年10月2日  
北海道厚真町  
公益財団法人イオン環境財団

## 10月10日（土）「厚真町さくら植樹」を実施

地域の皆さまの憩いの場となることを願い300本を植樹

北海道勇払郡厚真町（町長 宮坂尚市朗）と、公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田元也  
イオン株式会社 取締役兼代表執行役会長 以下、当財団）は10月10日（土）に「厚真町さくら  
植樹」を実施します。

北海道南部に位置する厚真町は、町内の7割に森林が広がるみどり豊かな町です。中央を流れる  
厚真川を中心に美しい田園風景が広がり、稲や野菜などさまざまな農作物が育っており、特産物の  
ハスカップの栽培面積は日本一を誇ります。

当財団は、2015年から3年間、厚真川上流部周辺のゴルフ場跡地に、水源涵養機能の回復や  
防災上の観点から、1,800名の皆さまとアカエゾマツなど16,400本を植樹しました。

2021年、当財団設立30年記念事業「さくらの名所づくり」の一環として、北海道胆振東部  
地震の震源地で大きな被害を受けた吉野地区に、エゾヤマザクラとヤエザクラを30本植樹  
2022年から2024年には、幌内地区の厚幌ダム工事の発生土の盛土地に、エゾヤマザクラを  
350名の皆さまと2,700本植樹しました。昨年は、町有林伐採跡地に150名の皆さまと  
400本のエゾヤマザクラを植樹し、これまでに、累計3,130本のさくらを復興とともに地域  
の皆さまの憩いの場となることを願い継続して植えております。本年は2022年から植樹をした  
幌内地区にエゾヤマザクラを補植します。

今後も、ひとつしかない地球を次代へ引き継ぐため、植樹をはじめとする環境活動に積極的に  
取り組んでまいります。

### 記

日 時 2026年10月10日（土）10：30～11：30  
場 所 北海道勇払郡厚真町字幌内135-1  
本 数 エゾヤマザクラ300本  
参加者 150名  
主 催 厚真町・公益財団法人イオン環境財団  
協 力 イオン北海道株式会社  
出席者 厚真町  
イオン北海道株式会社  
公益財団法人イオン環境財団

|         |        |
|---------|--------|
| 町長      | 宮坂 尚市朗 |
| 代表取締役社長 | 小寺 博之  |
| 専務理事    | 山本 百合子 |

以上

## ご参考

### 【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（当財団名誉理事長 イオン株式会社 名誉会長相談役）により日本で初めて地球環境に特化した民間企業単独の財団法人として１９９０年に設立されました。以来「植樹」「助成」「環境教育・共同研究」「顕彰」の４つの事業活動を中心に活動しています。現在は、持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりにも取り組んでいます。

### 【植樹活動】

万里の長城で１００万本の植樹をはじめ、国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的にアジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施しています。イオン全体の植樹本数は、１９９１年から累計約１,２８７万本を超えています。（２０２６年２月末時点）

### 【北海道での植樹活動】

#### ■ ２００２年～２００６年 知床

北海道斜里郡斜里町は、１９７７年、乱開発の危機にさらされていた知床の開拓跡地を買い取り植樹し、みどりを回復させることを目標に「しれとこ１００平方メートル運動」に取り組みられました。当財団は本運動に賛同し、２００２年から２００６年までの５年間で１,６１０名のボランティアの皆さまと累計９,０００本を植樹しました。

#### ■ ２００７年～２０１１年 支笏湖

２００４年の台風１８号による樽前山麓の森林被害は、当時道内最大規模で、この地を命はぐくむ森に再生するため、５年間で５,２０３名の皆さまと累計３９,６００本を植樹しました。また２００８年６月には、Ｇ８北海道洞爺湖サミットと同時開催された「Ｊ８ユースサミット」に世界各地から来日した子どもたち１００人が植樹を実施しました。

#### ■ ２０１２年～２０１４年 むかわ町

むかわ町は森林が約８割を占め、豊かな自然を利用した農林水産業が主な産業であり、森・川・海のつながりを活かしたまちづくりを目指しています。近年、山間部の森林荒廃が進んでいたことから「魚つきの森を守ろう」と森を守ることで川を守り、海を守るべく、３年間で１,７３５名のボランティアの皆さまと、累計１６,０００本を植樹しました。

#### ■ ２０１９年～２０２１年 南富良野町

町の総面積の約９割が森林の自然豊かな地域で、２０１６年、台風１０号の空知川の増水で甚大な浸水被害が発生しました。当財団と町は災害から地域を守り、みどりあふれる森の再生を目指し３年間で６５０名のボランティアの皆さまと、累計７,０００本を植樹しました。

#### ■ ２０２４年～２０２６年 興部町

農業・酪農に影響を与えるオホーツク海の潮風を防ぐため、１９５９年より植林された防風林が６５年を経過し、更新が必要となっていました。２０２４年７月に、当財団と興部町・オホーツク中央森林組合の三者で協定を締結し、興部町宮下地区の防風林約３haを更新する５年計画をスタートしました。２０２４年からの３年間で、面積３haに９,０００本を植樹しました。



２０２５年厚真町



２０２６年興部町